

平成 30 年 6 月 15 日現在

機関番号：34416
 研究種目：基盤研究(C) (一般)
 研究期間：2015～2017
 課題番号：15K02444
 研究課題名(和文) スペイン・エスコリアル修道院図書館に残る中国古典文献の学術的価値に関する研究

 研究課題名(英文) A research on the value of several Chinese books kept in the library of El Escorial monastery

 研究代表者
 井上 泰山 (INOUE, Taizan)

 関西大学・文学部・教授

 研究者番号：40139473
 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円

研究成果の概要(和文)：エスコリアル修道院図書館に保管されている漢籍のうち、最も重要なものは『新刊通俗演義三國志史傳』、『新刊耀目冠場擢奇風月錦囊正雜兩科全集』、『全家錦囊』、『少微先生高明大字資治通鑑節要』、『類編曆法通書大全』、『新刊補訂源流總龜對類大全』、『新刊徐氏家傳捷法鍼灸』の七種である。申請者は2014年に当該図書館に赴いてこれらの書物についての詳細な調査を行い、デジタルデータによって全ての書影を入手し、自身のホームページで全書影を公開した。今後、中国から欧州に流出した古典文献に関する研究をより一層促進させる契機になるものと期待される。

研究成果の概要(英文)：During the last century many Chinese books were found in the library of EL Escorial monastery. Some of them are very important because they were lost in China. In 2014 I visited the library to research those books and recognized the value, so I brought those materials to Japan by digital method and released the information. Now everybody can access and read those important books on my home page.

研究分野：中国文学

キーワード：スペイン 書大全 エスコリアル修道院図書館 中国古典文献 資治通鑑節要 三國志演義 風月錦囊 曆法通

1. 研究開始当初の背景

中国の古典籍（漢籍）が中国国内に最も多く保管されているのは当然の事であるが、一方海外に流出した資料も数多く存在する。その総量を把握し、従来見ることのできなかつた資料を公開することは、中国学の新たな発展を促すことにもつながる。

従来、ヨーロッパに流出した漢籍の調査は部分的に行われてきたものの、主としてフランスやイギリス、あるいはイタリアにおける所蔵状況に関心が注がれ、スペインやポルトガルなど、イベリア半島各地の漢籍収蔵の実態については、十分な調査は行われていなかった。

こうした現状を踏まえ、申請者は所属する大学において平成26年度に半年間、研修員の資格を得、その期間を利用して平成26年4月から6月までの3ヶ月間にわたってイベリア半島各地の公共図書館や王宮・修道院内の図書室などを訪れ、当該機関に所蔵されている漢籍の調査を行った。

その結果、スペイン・マドリッドの北東50キロの丘陵地帯に位置するエスコリアル修道院の図書館に、16世紀にイエズス会の宣教師によって中国から運ばれてきた貴重な漢籍が複数存在することが明らかになり、それぞれの漢籍について詳細な調査を行うことができた。

貴重な中国古典籍がエスコリアル修道院に保管されていることについては、フランスの著名な中国学者であるポール・ペリオ（1920年代）や、中国の詩人・戴望舒（1930年代）などがかつて現地を訪れた際に調査し、簡単な報告を残しているが、その多くは断片的なものに過ぎず、文献の全貌を知ることは困難であった。

また、1952年に現地を訪れた台湾の学者・方豪はその著『方豪六十自定稿』の中で、残存する漢籍の書名と簡単な書誌情報を記しているが、現在に至るまで書物の全貌が公開されたことはなく、その詳しい実態は不明のままであった。

平成26年度に申請者が行った詳細な調査と基礎的な研究の結果、エスコリアル修道院図書館に残る漢籍は、その大部分が16世紀に中国国内で刊行されたものであり、一部の文献は中国でも既に失われ、稀少価値を有する、所謂「天下の孤本」

であることが明らかになった。

申請者はかつて、平成10年から11年にかけて、『三国志通俗演義史伝』2冊を関西大学出版部から翻刻出版した。これは、エスコリアル修道院図書館に保管されている貴重な漢籍の一部に他ならない。今回申請した研究の内容は、該書を含めた他の7種類の文献について、そのすべての書影を電子データによって公開するものであり、これによって、従来明らかにされていなかった、16世紀にスペインに流出した中国古典文献の全貌を知るための手段が利用しやすい形で広く提供されることになり、関連する分野の研究を飛躍的に推し進めることが期待できる。

2. 研究の目的

申請者は過去20年間にわたって、イベリア半島、とくにスペインに流出した中国古典籍の調査を進め、平成19年度から21年度にかけて科研費を取得し、それによって得られた成果の一部を自身のホームページ上に於いて公開した。

平成26年度には所属機関から研修員の資格を与えられ、エスコリアル修道院図書館に保管されている7種類の中国古典籍を集中的に調査した結果、それらの文献がいずれも、かつて16世紀に中国で刊行された貴重な刊本であることが判明した。

今回そのすべての書影をWEB上で公開することにより、従来見ることのできなかつた重要な資料の全貌を明らかにし、関連する分野の研究を推し進めるための基盤の形成を目指す。

3. 研究の方法

申請者はスペインのエスコリアル修道院図書館に16世紀以来保管されている貴重な漢籍7種について詳しく調査し、当該機関の許可を得て、その全ての文献の全容を電子データによって取得した。

今回の研究は、まず、(a)入手した漢籍

の電子データ（漢籍の書影）を、既に開設し運用を開始している自身のホームページ上で公開し、次に、(b) 現在関西大学のアジア文化研究センターで公開準備を進めているその他のスペイン国内残存資料と併せて、主要な漢籍の詳細な書誌を作成し、(c) これを書籍として一定部数公刊する。(d) また、研究によって得られた成果を国内外の学会で発表する。

以上の研究を通して、スペイン国内に残存する漢籍の全貌を明らかにするための基盤を形成し、文学・歴史・思想など、関連する分野の研究をより一層強力に推し進めることを目指す。

エスコリアル修道院図書館に保管されている各々の漢籍の分量は以下の通りである。

- 『少微先生高明大字資治通鑑節要』
(20巻4冊 882葉)
『徐氏家傳捷法鍼灸』
(残本。2巻1冊 89葉)
『三國史通俗演義史傳』
(全10巻。残本。現存8巻8冊 698葉)
A『新刊耀目冠場擢奇風月錦囊正雜
兩科全集』(1巻1冊 129葉)
B『新刊摘彙奇妙戲式全家錦囊』
(A・B合冊本)
『摘滙奇妙全家錦囊統編』
(上下 40巻1冊 141葉)
『新刊補訂源流総龜對類大全』刊行
年不詳 (1冊 96葉)
『類編曆法通書大全』刊行年不詳
(2冊 281葉)

以上7種類の漢籍の合計冊数は18冊である。これらの漢籍の全葉を電子データの形で公開することが今回の研究の目標である。研究を推し進めるための具体的な方法

は以下の通りである。

- (1) 研究初年度となる平成27年度に、7種類の漢籍のデータを自身のホームページ上に掲載するための環境整備を行う。具体的には以下の作業を行う。
- (2) 研究室に於いて使用中のパソコンは旧式のものであるため、容量の大きい最新型のパソコンを導入し、現在開設しているホームページの情報と機能をすべて移管する。
- (3) 上記の漢籍の全データを順次公開に適する形に加工する。その際には、申請者が現在所属しているアジア文化研究センター(CSAC)に配備されている機材を利用するとともに、自身のパソコンも同時に活用する。これらの作業は大学院生の協力を得て行う。
- (4) 情報の公開はアジア文化研究センター(CSAC)と連動させて行う。そのために、作成したデータは一旦CSACのサイトにアップし、自身のパソコンからも自在にその情報を引き出せるようなシステムを構築する。外部からのアクセスにも対応できるように、専用のソフトを使ってCSACの画面をホームページ上に瞬時に呼び出せるシステムを構築する。また、スマホにも対応できるようにする。
- (5) 平成27年度中に、上記の漢籍のうちの3種類、すなわち『少微先生高明大字資治通鑑節要』、『徐氏家傳捷法鍼灸』、『三國史通俗演義史傳』のデータを加工して公開に向けて準備を進める。

平成28年度および29年度には、27年

度の研究内容を引き継ぐ形で、以下の作業を行う。

- (1) 既述の漢籍のうち、残る4種類の漢籍について公開に適する形にデータを加工する。
- (2) 7種類の漢籍の関連情報を収集するため、東京および中国に出張して調査を行う。
- (3) 公開するためのデータ処理が完了した文献から順次ホームページ上で公開する。
- (4) スペイン・マドリッド自治大学の教授であるタシアナ・フィサク氏の著作『西班牙図書館中国古籍書志』(平成22年、上海古籍出版社刊)に収録されている漢籍のうち、重要な書籍に関する書誌情報を日本語に訳すとともに、申請者自身の過去の調査によって得られたトレド聖堂参事会図書館所蔵漢籍やエスコリアル修道院図書館所蔵漢籍の情報を加え、スペイン国内に残る中国古典籍に関する詳細な書誌を作成し、それを書籍によって公刊する。

なお、タシアナ氏の著作の一部を日本語に訳して利用することについては、すでに本人の了承を得ている。
- (5) 得られた成果に基づいて研究論文を執筆し、日本および中国の研究誌に掲載する。また、29年度以降に、中国国内の学会に於いて、関連する問題についての研究発表を行う。

以上、3年間にわたる研究の内容と作業の流れをまとめると、次のようになる。

エスコリアル修道院に現存する7種類の中国古典籍について、原文の電子データを加工して学内のアーカイブズと

連動させ、自身のホームページ上でも公開する。入力作業と並行して、国内外に残る関連資料の収集を進める。

現在関西大学のCSAC(アジア文化研究センター)で公開作業を進めている、スペイン国立図書館やトレド聖堂図書館所蔵文献と併せて、スペイン国内に残存する主要な漢籍の詳細な書誌を作成し、紙媒体の書物によって出版する。

以上の基礎的作業を終えた後、7種類の文献全体のもつ資料的価値を考察し、「エスコリアル修道院所蔵漢籍の学術的価値に関する総合的研究」(仮題)と題する論文(報告文)を執筆し、日本及び中国の専門学会において研究発表を行う。

上記の目標を達成するためには、正確なデータベースを作成し、その精度を確認するための高性能の機材の購入が必要となる。ホームページは既に開設しているが、現在使用中のパソコンは過去の古いタイプのものであり、膨大な漢字情報を滞りなく公開するためには、容量の大きな最新のパソコン機器を導入しなければならない。同時に、入力データをホームページ上で公開するための新たなソフトも必要である。

また、作業の能率を高めるため、第一段階での加工・入力作業を行うためのアルバイト人員も確保する必要がある。これについては、従来から、大学院生を中心とする各種の白話文献読書会を開催しており、中国の古典文献解読とパソコン入力に関する基本的力量を備えた学生を複数養成していることで、27年度と28年度に、必要に応じてアルバイト要員として協力を仰ぐことができる。

平成27年度に行うべき作業として、上記の加工・入力作業の他、関連文献の版本に関する調査を行う必要がある。具体的に言えば、日本国内には、関連する漢籍が東京の内閣文庫や東洋文庫などに収蔵されている。また、中国の国家図書館や上海図書館などにも類似の書物が存在する。現存する各種の漢籍目録で確認した限りでは、それらは類似の書名ではあるが、刊行年や刊行地、出版書肆などが各々異なっており、内容にも微妙な相違が存在する可能性がある。従って、エスコリアル修道院図書館に残る漢籍のもつ

学術的価値を的確に判断するためにも、日本および中国に残る版本との比較対照による詳細な調査が不可欠である。

以上の理由により、平成 27 年度と 28 年度の必要経費のうち、その一部を、東京への出張費用および中国への出張費用として計上する。

なお、標記 7 種類の中国古典文献の電子データを、研究者が利用可能なデータベース化して公開することについては、既述の各文献所蔵元に対し、著作権益の扱いに係る所定の手続きを完了している。

4. 研究成果

本研究の目的は、16 世紀以来スペインのエスコリアル修道院図書館に保管されている 7 種類の中国古典文献の全文データを WEB 上で公開するとともに、その総合的な書誌情報を整理して刊行し、これまで解明されていなかった、スペインに流出した貴重な古典文献についての学術的価値を明らかにすることである。

公開の対象とした文献は (1) 『少微先生高明大字資治通鑑節要』(1514 年刊) (2) 『徐氏家傳捷法鍼灸』(1531 年刊) (3) 『三國史通俗演義史傳』(1548 年刊) (4) A 『新刊耀目冠場擢奇風月錦囊正雜兩科全集』(1553 年重刊) B 『新刊摘彙奇妙戲式全家錦囊』(5) 『摘滙奇妙全家錦囊統編』(1553 年重刊) (6) 『新刊補訂源流總龜對類大全』(16 世紀刊本) (7) 『類編曆法通書大全』(16 世紀刊本) の 7 種である。

3 年間に行った研究の大まかな流れを示すと、研究初年度に、データ加工作業を行うための周辺機器の整備を行うと同時に公開予定の文献に関する基礎的な書誌情報を調査し、翌 28 年度から 2 年間にわたって、公開に向けたデータ作成に取り組んだ結果、29 年度末までに所期の目的を滞りなく達

成し、併せて、各文献の詳細な書誌情報を盛り込んだ報告書を公刊した。

研究の最大の成果は、前掲 7 種類の文献の全文データを研究代表者自身のホームページ上で公開することによって、従来未知のまま放置されてきたスペイン国内に残る貴重な中国古典文献の存在とその学術的価値を国内外の研究者及び関連する学会に周知せしめることができたことである。

また、(3) や (4) など、すでに書籍の形で公刊されている一部の文献について、全文データが利用しやすい形で公開されることにより、従来の研究内容の精度を高め、必要に応じて再検証することが可能となったことも、今回の研究の重要な成果として挙げることができる。

さらに、エスコリアル修道院図書館収蔵漢籍の書誌情報を総合的に整理することによって、かつて中国からイベリア半島に流出した中国古典文献の性質とその学術的価値を確定することが可能になると同時に、今後、中国国内で既に失われた資料に対する新たな関心呼び覚まし、中国学の新たな発展を促すことに貢献し得たものと考えている。

研究最終年度である 2017 年度 (平成 29 年度) には、データを公開した 7 種類の古典文献に関する総合的な書誌情報を冊子にまとめて刊行した。エスコリアル修道院図書館に残る 7 種類の貴重な古典文献に関する書誌情報については、かつて当該図書館に赴いて調査にあたったスペイン・マドリッド自治大学教授タシアナ・フィサク氏の編輯に係る『西班牙図書館中国古籍書志』(上海古籍出版社・2010) が備わっており、それによって書誌に関する基本的な輪郭は把握できるものの、申請者が改めて実際に 7 種類の当該文献を逐一調査した結果、基本的なデータにかなりの誤りが存在することが判明した。そのことは、2015 年に中国国家図書館出版社から出版された『西班牙蔵中文古籍書録』(杜文彬編) の中で既に指摘されている通りであり、今回の研究報告の中ではその点も考慮して、かつて申請者が東方学会の機関誌『東方』に掲載した書誌情報を全面的に訂正し補正する形で、新たに書誌に関する報告文を作成した。

また、報告集の末尾には、前記 (1) の『少微先生高明大字資治通鑑節要』に関する

現地での調査結果も一覧表として付載した。これは、申請者が現地で文献のデータ撮影を依頼した際に、撮影担当者の不用意、あるいは撮影技術の物理的限界によって生じたと考えられるもので、書物の版心部分が充分に開葉されない状態のまま撮影されたために、多くの頁に判読不能な部分が残ったものである。申請者が入手した直後にデジタルデータの精度を現地で確認したところ、前述した不備に気づいたため、原本を借り出して逐一入手データと対照し、入手データからは判読できない文字を全て手書きによって書き写した。データを公開するにあたっては、こうした手書きの資料を同時に公開することが不可欠であり、報告集の末尾に一覧表として付載した。これによって、デジタルデータの不備を補うことができた。

以上に述べたように、これまで取り組んできた研究課題「スペイン・エスコリアル修道院図書館に残る中国古典文献の学術的価値に関する研究」(課題番号 15K02444)については、平成25年度から27年度までの3年間に、当初掲げた通りの目標を達成し、所期の成果を挙げることができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 2 件)

井上泰山、幸田露伴と元雑劇～短篇小说「あやしやな」の来源をめぐって～、関西大学『中国文学会紀要』、査読無、第26号、2017年、1~28

井上泰山、スペイン・エスコリアル修道院図書館所蔵漢籍について、『東方学』、査読有、第131輯、2016年、149 - 160

〔学会発表〕(計 1 件)

井上泰山、幸田露伴と中国文学～古典小説・戯曲の受容を中心として～、「日本に於ける中国小説及び伝説の受容」学術討論会、香港中文大学、2016

年

〔図書〕(計 1 件)

井上泰山、遊文舎、進化する中国文学史～『中国文学史』翻訳関連文集～、2015年、138

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

井上泰山 (INOUE, Taizan)
関西大学・文学部・教授
研究者番号：40139473

(2) 研究分担者

()
研究者番号：

(3) 連携研究者

()
研究者番号：

(4) 研究協力者

()